

応用電子物性分科会 研究例会

太陽電池モジュールの基礎と将来展開

高効率な太陽電池やモジュールの低コスト化により、太陽光発電の普及が進みつつある。更なる普及のためには変換効率の向上に加え、新たな応用先の探索、リサイクルが容易なモジュール構造の検討や意匠性に優れたモジュールの開発も重要な課題である。本研究例会では太陽電池モジュールの将来展開の観点から、関連分野の研究・開発の第一線で活躍されている研究者の皆様に招待講演をお願いいたしました。

日時：2023年11月21日 13:00～17:00

会場：Zoomによるオンライン開催

演題：

13:00～13:05 応用電子物性分科会幹事長挨拶

(1) 13:05～13:50

「太陽電池モジュールの劣化機構と新概念構造の開発」
大平 圭介 (北陸先端大)

(2) 13:50～14:35

「建材一体型太陽光発電における高効率加飾技術」
和田 裕之 (東工大)

(3) 14:35～15:20

「太陽電池応用のための量子ドット蛍光体フィルムの開発」
磯 由樹 (慶応大)

— 休憩 (10分) —

(4) 15:30～16:15

「太陽光広帯域利用に向けたアプローチ：近赤外光を可視光に変換する
アップコンバージョンナノ粒子の開発」
石井 あゆみ (早稲田大)

(5) 16:15～17:00

「ペロブスカイト太陽電池の性能評価及び、宇宙用途展開に向けた取組み」
田中 裕二 (リコー)

受付：[こちら](http://annex.jsap.or.jp/ohden/)より事前登録をお願いいたします。http://annex.jsap.or.jp/ohden/

参加費 (テキスト代・消費税込)：

応用電子物性分科会会員：3,000円

応用物理学会会員 (分科会非会員)：7,000円

応用物理学会会員 (シニア会員)：2,000円

一般：12,000円、一般学生：2,000円

*応電分科会の賛助会員の方は1社につき1名まで無料。2名以上は通常通りの参加費。

問合せ先：

加藤拓也 (出光興産)

E-mail: takuya.kato.6510@idemitsu.com

重川直輝 (大阪公立大)

E-mail: shigekawa@omu.ac.jp

福島 昌一郎 (三菱電機)

E-mail: Fukushima.Shoichiro@cb.MitsubishiElectric.co.jp

宮島晋介 (東工大)

E-mail: miyajima.s.aa@m.titech.ac.jp

小田 康代 (応用物理学会 事務局)

E-mail: divisions@jsap.or.jp TEL: 03-3828-7723 (直通)